

中学校第2学年 国語科学習指導案

1 単元名 関わりの中で

2 指導の系統及び生徒の実態と本単元の意図

(1) 本単元に至るまでの指導の系統

育成すべき国語の能力 【指導事項（読むこと）】	学習内容	単元・教材名 〈実施時期〉	学習活動と関連する 他領域等の指導
<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。 (1年ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の行動や情景描写に表れた心情理解・題名のもつ意味 	<ul style="list-style-type: none"> 「星の花が降るころに」 〈1年9月〉 「大人になれなかった弟たちに…」 〈1年9月〉 	<ul style="list-style-type: none"> 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 「言葉を比べよう—もっと『伝わる』表現を目ざして」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の行動の意味などを考え内容の理解に役立てること。 (2年イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情理解 ・ 関係の変化を読解 	<ul style="list-style-type: none"> 「アイスプラネット」 〈2年5月〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の微妙な違いへの気付き 【話すこと・聞くこと】 「魅力的な提案をしよう」 ・ 表現や構成の工夫

(2) 生徒の実態と本単元の意図

「言葉を比べよう—もっと『伝わる』表現を目ざして」では、「恋しい」と「なつかしい」の例文を全員が発表し、二つの言葉の微妙な違いに気付き、考えを深められた。硬筆では全員が集中して取り組み、質の高い作品を仕上げることができた。多くの生徒が、仲間と協力し、全員で学び合うことの大切さを感じられる一方、授業中に積極的に発言しない生徒も見受けられるので、全員が参加する雰囲気醸成していく必要がある。

本教材は、小学3年生の少年を語り手に据えて進行する。作者は少年の視点に潜り込み、少年を巡る生活のイメージと情感を生き生きと描き出している。一日半しか休みがもらえない中、眠りを寸断してまでえびフライを持って帰ってきた父親の優しさや家族の温かさに触れて、えびフライは少年にとって特別なものになっていく。父親との別れが辛いのをこらえていた時にふと口をついてしまった「えんぴフライ」という言葉には、父親の愛情を感じ取り、父親を思う少年の気持ちが表れている。

時代背景、父親の心情、方言の効果など学習を積み重ねることによって、少年にとってえびフライが特別なものであることに気付かせ、別れ際に「えんぴフライ」と言ってしまった少年の心情を捉えさせたい。グループでの音読、インタビュー、話し合いなどの言語活動を通して学習を深めさせたい。

3 単元の目標

- (1) 作品から読み取れる登場人物の人柄や心情について、自分の考えや感想をまとめようとしている。 (関心・意欲・態度)
- (2) 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。 (読むこと)
- (3) 登場人物の言動や描写に着目して、人柄や心情を捉えることができる。 (読むこと)
- (4) 作品特有の語句の意味や語感を、文脈の中での的確に捉えることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 人権教育上のねらい (普遍的な人権課題「人間の尊厳・価値の尊重」)

人々の文化や生き方に興味・関心を寄せ、自他を尊重する精神を養う。

5 人権教育上の視点

他者の文化や生き方に豊かな感性や想像力を働かせ、共感的に理解することができる。
(技能)

6 単元の評価規準や学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読むこと	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	・作品から読み取れる登場人物の人柄や心情について、自分の考えや感想をまとめようとしている。	・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 ・登場人物の言動や描写に着目して、人柄や心情を捉えている。	・作品特有の語句の意味や語感を文脈の中での的確に捉えている。
学習活動に即した評価規準	① 文章表現を根拠に、自分の考えをもとうとしている。 ② 話し合い活動等で積極的に交流し、自分の考えを深めようとしている。	① 印象に残った場面について作品の構成や表現の仕方に着目して自分の考えをまとめている。 ② 描写の効果や人物の言動を表現に即して読み取り、人柄や心情を捉えている。	① 語句の意味や用法を理解している。 ② 作品に使われている方言の意味を文脈の中での的確に捉え、その語感について自分の考えを形成している。

7 指導と評価の計画（全6時間）

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
1	○作品を通読し、初発の感想を書く。 ○意味を調べ、語句の意味を知る。	・ 全体の内容の把握 ・ 初発の感想 ・ 意味調べ	アの① エの① オの① ・ ノートによる考察
2	○登場人物を確認する。 ○文章の構成とあらすじを確認する。	・ 初発の感想の共有 ・ 文章の構成とあらすじ ・ 登場人物の確認	アの② エの①② ・ 発言の様子や態度の観察 ・ 発表内容による考察
3	○えびフライを持って帰ってきた父の思いを読み取る。	・ 叙述からの心情の読み取り	アの① エの② ・ 発言の様子や態度の観察 ・ ノートによる考察
4	○方言の効果を考える。	・ グループでの音読 （方言を共通語に直して） ・ グループでの音読 （方言で） ・ 方言が使われることの効果	アの② オの② ・ 発言の様子や態度の観察 ・ ノートによる考察
5	○「僕」へのインタビューの答えを考える。 ○作品の中における「えびフライ」と「えんぴフライ」の使い分けについて考える。	・ インタビューの内容 ・ 表現の違い	アの① エの② ・ 発言の様子や態度の観察 ・ ワークシートによる考察
6 本時	○「僕」にインタビューをし合う。 ○「えんぴフライ」と言ってしまった「僕」の心情を読み取る。	・ インタビューの内容 ・ 叙述からの心情の読み取り	アの② エの② ・ 発言の様子や態度の観察 ・ ノートによる考察

8 本時の学習指導（本時 6 / 6時）

(1) 目標

- ・ 話し合い活動で積極的に交流し、自分の考えを深めようとしている。（関心・意欲・態度）
- ・ 描写の効果や人物の言動を表現に即して読み取り、心情を捉えることができる。（読むこと）

(2) 展開

◎人権教育上の配慮

学 習 活 動	学 習 内 容	指 導 と 評 価 の 創 意 工 夫
1 前時に行ったことを振り返る。(ワークシート) 2 本時の学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習の振り返り ・学習課題の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回書いたインタビューのワークシートを配付する。 ・本時の学習の見通しをもたせる。
【学習課題】 父との別れ際に、「僕」はなぜ「えんびフライ」と言ってしまったのだろう。		
3 場面☐を音読する。 4 「僕」が「えんびフライ」と言ってしまった理由を予想する。 5 「僕」へのインタビューをし合い、「僕」の心情にせまる。 【班】 → 【全体】 (1) 4人班を作り、役割を決めてインタビューをし合う。 (2) 3つの場面の「僕」の心情について、班でより適した表現を考える。 (3) 班ごとに発表し、全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章内容の理解 ・叙述からの読み取り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (予想される生徒の反応) ○また買ってきてほしいから。 ○父親に頭を揺さぶられて混乱したから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・心情の理解 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (予想されるインタビューの内容) ○お父さんがえびフライを持って帰ってきた時、どんな気持ちでしたか。→うれしい。驚き。父への感謝。 ○えびフライを食べている時どんな気持ちでしたか。→えびフライはおいしいし、久しぶりに家族4人で食事ができて幸せ。楽しい。 ○お父さんが一日半で帰ってしまうと知り、見送りに行った時、どんな気持ちでしたか。→寂しい。もっといてほしい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読することで内容を確認させる。 ・この時間での考えの変化や深まりを見るために、一人一人予想させる。 ・無意識に出てきたということは、それが印象に残っていたからであることに気付かせる。 ・ワークシートにメモを取りながら活動させる。 ・インタビューし、話し合うことで、えびフライを持って帰ってきた父親の愛情を感じたこと、家族で過ごした時間が楽しかったこと、父親が帰ってしまうのが本当は寂しかったことに気付かせる。 <p>◎インタビューをし合うときには、登場人物のとった行動の描写に視点をあてるよう指示する。(技能)</p>

<p>6 「僕」が「えんびフライ」と言ってしまった理由を書く。【個人】→【全体】</p>	<p>・心情の理解</p> <div data-bbox="592 887 995 1352" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(予想される生徒の反応) ・「僕」が「えんびフライ」と言ってしまった理由 ○父親が一日半しかいられずに帰ってしまうのがとても寂しくて、父の愛情や家族の楽しい時間の思い出のつまった「えんびフライ」がつい口をついて出てしまったから。</p> </div>	<div data-bbox="1015 264 1428 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価場面 1</p> <p>〈具体の評価規準〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アの② ・エの② <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題への取組の様子 ・ワークシートによる考察 </div> <div data-bbox="1015 577 1428 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈手だて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の意見を聞き、メモを取らせる。 </div> <div data-bbox="1015 887 1428 1256" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価場面 2</p> <p>〈具体の評価規準〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エの② <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートによる考察 <p>〈手だて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5の活動で出てきたキーワードを使って書かせる。 </div> <p>・4の活動で書いたものと6の活動で書いたものを比較させ、学習の深まりや学習による変化に気付かせる。</p>
<p>7 本時の学習を振り返る。</p>	<p>・自己評価カードの記入</p>	<p>・4の活動で書いたものと6の活動で書いたものを比較させ、学習の深まりや学習による変化に気付かせる。</p>